

教育目標

| ゆめ | 重点目標 | 取組の状況 |
|--|--|---|
| 生き生きと主体的に遊ぶ子供を育てる | 教師は、子ども達の思いに寄り添い、一人一人を大切にしようとしている。 | 全職員で連携を取りながら、一人一人の子供を多面的に捉え、そのらしさを大事し、よりより成長をつなげていけるように意識してきた。 |
| | 子ども達が自分の好きな遊びを楽しめるような環境になっている。(いろいろな遊びが自分達でできる環境である) | 砂場や芝生を整備し、子供の興味や関心、成長にあった用具や材料を準備して自分のしたい遊びを存分に楽しめるようにしてきた。 |
| | 子ども達の豊かな感性を育てようとしている。(自由に描いたり作ったりできる環境である) | 自由に絵を描ける場所を用意したり、自由に楽器に使える場所を用意して音楽に親しみを感じられるような環境を工夫してきた。落ち着いた空間で絵本に親しめる環境を作ってきた。 |
| | 子ども達が自分の好きな遊びをじっくり取り組めるような時間が確保されている。 | 遊び込める時間を確保し、考えたり、試したり、工夫したりする力が育つように環境構成を行い、満足感や充実感が感じられるようにしてきた。 |
| | 幼稚園では四季の変化や自然の美しさ、面白さを感じられるような体験活動ができる。(四季折々に咲く花。節句人形など) | 四季折々の身近な自然物を遊びに取り入れ、様々な事象に興味や関心をもてるようにしてきた。虫取りを楽しめるよう花を植えたり雑草を残したりし、子供たちが自然と触れ合えるような環境を大切にしてきた。 |
| | 身近な動植物や玄関の虫ハウスなど、生き物と触れ合いの中で豊かな体験ができるようにしている。 | 子供たちが積極的に自然に関わるようにピオトープ周りの環境を整えたり、虫眼鏡や図鑑を用意したりするなどしたことで、子供の関心の広がりが見られた。 |
| | 四季折々の野菜を植えたり、収穫することで、食べ物への興味関心につながっている。 | 四季折々の野菜を育て、育てる活動や収穫の喜びを味わうことができた。収穫した物を家庭に持ち帰ったり、園で調理したりすることで、食育にもつながられている。 |
| | 幼稚園では異年齢の友達と関わる事を大切に、親しみや思いやり、楽しさを感じられるようにしている。 | 異年齢で遊ぶ中で、共感してもらい楽しさ、嬉しさを感じながら教えあったり、学びあったりする姿が見られた。相手を思いやる気持ちや自分より大きい友達に憧れる気持ちを育ててきた。 |
| 河西公園の遠足や園外の畑など、地域との触れ合いを大切にしている。 | 河西公園に近く園と一緒に園外保育に行ったり、給食で食べるしらすを買いにいたり、また親子で磯ノ浦の浜遊びに行くなど地域の豊かな環境にかかわる機会を大切にしてきた。 | |
| 園だよりやクラス便り、ホームページ等を通して、子ども達の遊びの様子を伝え、育ちを共有し、保護者との連携を図っている。 | 遊びでの子供の成長や学び、育ちについて園だより、クラスだより、ホームページ等で知らせ、また保護者の方からは、家庭での様子を伝えてもらうなど、子供の育ちを共有し保育に活かせるようにしてきた。 | |

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

大多数の保護者の方が肯定的に受け止め高評価していただいております。園の教育内容や意図に理解を示してくれている。一人一人の子供を全職員で多面的に見取り、保護者とその子の成長や課題を共有しながら、同じ意識で子供を見守りながら信頼関係を築いてきた結果であると思われる。今後も本園の教育目標『主体的に遊ぶ子供を育てる』を達成するために遊び込める豊かな環境・より良い教師の援助の在り方に努めていきたいと考えている。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

子供の成長の様子をクラスだより、園だより、ホームページ等で知らせ、子供の育ちを分かりやすく伝えていきたい。その情報発信を園内のみならず、地域にも発信し公立幼稚園の教育内容を周知してもらえるような機会を多く設けていきたいと考えている。また地域での子育て支援コミュニティとしを充実させるため、子育てについて情報交換を出来るような機会を設け、未就園児の集いも充実していきたいと考えている。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

子供が生き生きとして好きな遊びに夢中になって遊び込めているのは、豊かな環境、ゆったりとした空間や時間あるからこそのことである。先生の目が行き届いており、きめ細やかに丁寧にかかわっていることで、一人一人の成長をしっかり捉えることが出来ている。また、何かあればすぐに園に相談できる環境があることは保護者の安心につながっている。